

TAC ONE 12424 IR



倍率	1.2~4倍
レンズ径	24mm
チューブ径	30mm
M.O.A.	1.1クリク=1/2M.O.A.
アイリフ	1.2x=95mm/4x=85mm
全長	256mm
重量	420g
水平作動幅	30M.O.A.
高低作動幅	30M.O.A.
F.O.V.	1.2x/25m, 4x/7.6m
付属品	フリップオープンキャップ、ハニカムサンシェード

TAC ONEシリーズの特徴

- 負担にならない重量 ハイエンドモデルに比べ約20%軽量で銃に負担をかけずゲームでも使いやすい。
- 使いやすい倍率 エアガンの飛距離で最も便利に使える1.2~4倍のズーム。イルミネーションレティクルも装備。
- 豊富な付属品 フリップオープンキャップの他、ハニカムサンシェードも付属。ゲームでの被弾による破損を防ぐ。
- 価格以上の高性能 全てのレンズに特殊なコーティングを施しクリアな視界を実現。

銃にマウントする前に

●焦点合わせ-デオート調整

視力は各個人で異なりますので、接眼部にある「デオート」を使って調整しておく必要があります。



壁や空などの形のない明るいところをスコープで見たときにレティクルがクッキリ見えるように、デオートを回して調整します。



スコープは、レンズを覗いたときに空中にレティクルが投影されるようにできています。デオートは、その投影される距離を調整するためのものです。

●厳重注意

スコープを装着する前に、常にエアガンに弾が入っていないこと、撃てる状態になっていないこと、安全装置がかかっていることを確認してください。これは装着のつど必ず実行してください。

スコープの取り付け

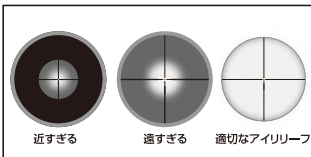
スコープが十分にその能力を発揮するためには、銃に正しくマウントされていることが非常に重要になります。適切な高さ・位置・向きに、十分に強固にマウントしてください。



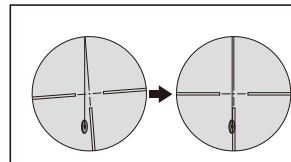
銃に取り付けられているマウントベースと、TAC ONEに選んだ、品質の高いマウントリングを使用してください。



まず、マウントリングの下側のみを銃のマウントベースに取り付けます。スコープをマウントリングに載せ、前後位置などが適切になっているかどうかを確認します。実際に銃を構えてみて、適切なアイリフが取れるかどうかを確認します。



アイリフとは…スコープは目と接眼レンズの間に、ある程度の距離を置いた状態で使用します。その距離をアイリフと呼びます。近すぎても遠すぎても、正しい倍率ができなくなります。構えた時に適切なアイリフが取れるようにスコープを取り付けてください。

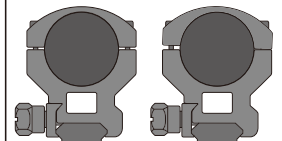


レティクルの水平・垂直を合わせます。銃を平らなところに置いた状態で垂直なもの(コインを吊り下げた糸など)をスコープで見て、糸とレティクルの線の縦が揃うようにするなどの方法があります。



マウントベースにマウントリングを固定しているスクリューを十分に締めてから、マウントリングの上側を取り付け、各側のスクリューを締め付けます。スクリューは一箇所だけをいきなり全部締め付けるのではなく、全体が均等に締まっていくように注意してください。

○隙間が左右均一 ×隙間が不均一



マウントリングが正しく取り付けられた場合、左図のように上下マウントリングの間には左右均等な隙間が空くように作られています。もし左図のように左右の隙間が不均一になっているようでしたら、スクリューを緩めながら左右均等になるように締め直してください。

●レティクルをセンターに合わせる

TAC ONE 12424 IRは、出荷時にレティクルがおおむね中心に来るように調整してありますが、一度別の銃で使用したことがある場合などは、マウント前に一度レティクルをセンターに戻しておくことをおすすめします。



①エレベーション/ウインデー調整ノブを、一度片方向(写真では時計回り)に、それ以上動かなくなるまで回してください。



②反対方向(写真では反時計回り)に、何回転させたか数を数えながら、動かなくなるまで回してください。



③最初と同じ向き(写真では時計回り)に、②で調べた回転数の半分だけ回してください。

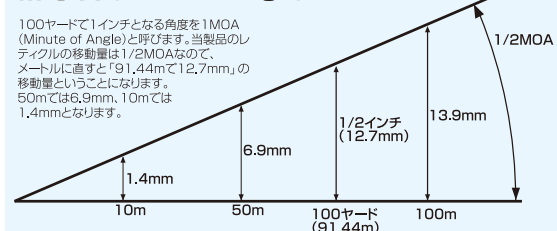


注意

エレベーション/ウインデー調整ノブを無理に回さないでください。エレベーション/ウインデー調整ノブをいっぱいまで回した状態から、さらに無理に回すことは損傷の原因になります。

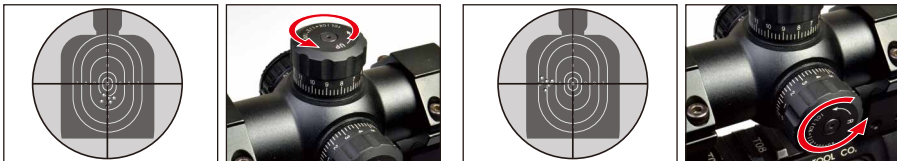
M.O.A. (Minute of Angle) とは

100ヤードで1インチとなる角度を1MOA (Minute of Angle) と呼びます。当製品のレティクルの移動量は1/2MOAなので、メートルに直すと(9)1.44mで12.7mmの移動量ということになります。50mでは6.9mm、10mでは1.4mmとなります。



ゼロイン

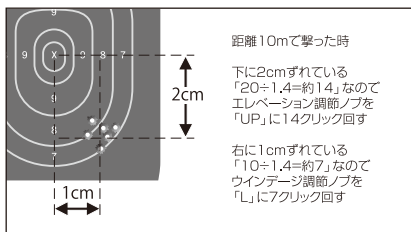
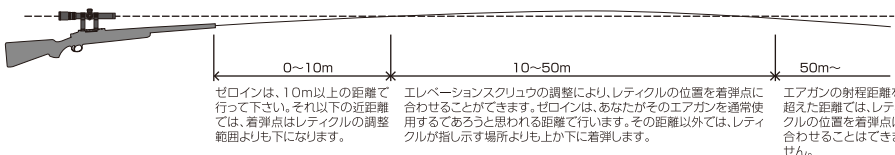
ある特定の距離でターゲットの中心を狙って撃ったときに、中心に弾着が集まるように調節することを、その距離におけるゼロインと呼びます。ゼロインをする際には、1発だけではなく同じ場所を狙って数発を撃って、そのままとまりを見て調節することが重要です。



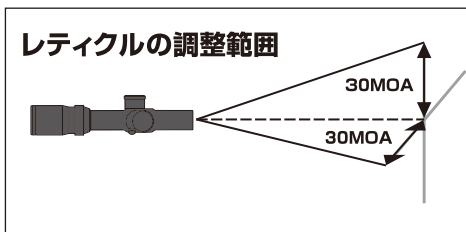
狙った場所より下に当たる場合…エレベーション調節ノブを「UP」の方向に回します。上に当たる場合はその逆です。

狙った場所より左に当たる場合…ウインテージ調節ノブを「R」の方向に回します。右に当たる場合はその逆です。

光は真っ直ぐ進みますが、発射した弾はおおむね放物線を描いて飛びます。レティクルの中心に弾が当たるのは最大で2つの距離だけで、それ以外の距離では弾はレティクルの中心より上か下に当たります。

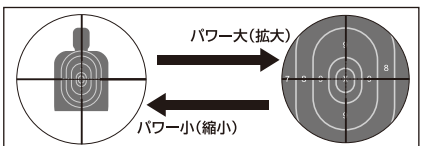


ターゲットまでの距離と、中心からのスレの量から、必要なクリック数が計算できます。



TACONE 12424 IRのレティクルは、中心から上下・左右方向にそれぞれ30MOAの範囲で調節できます。

パワーセクター(ズーム)の使い方



大きな数字ではターゲットは大きく、小さな数字では小さく見えます。どこにいるかわからないターゲットを探すときは小さな数字、より精密に狙いたいときは大きな数字に合わせてよいでしょう。

ハニカムサンシェード



イルミネーションレティクルの使い方

TAC ONE 12424 IRには、レティクルが赤く発光する機能があります。明るさを11段階に調節できます。暗い場所で照準するときに使います。



スコープの左側面にあるのが、イルミネーションのスイッチ&切替ダイヤルです。手前の白いドットに数字の「0」を合わせるとスイッチがOFFになります。

ロータリースイッチを回転させると、レティクルの中心エリアが赤く発光します。明るさは11段階に調節できます。

電池の交換方法です。まずロータリースイッチが回らないように指で抑えながら、コインなどを用いてバッテリーキャップを反対方向に回して外します。

TACONE 12424 IRは、CR2032リチウム電池を1個使用します。なお出荷時の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

メンテナンス

ホコリや汚れはまずエアダスターやブロワーで吹き飛ばし、落ちない汚れは柔らかい布などで拭き取ってください。使用しない時は付属のレンズキャップを装着してください。可動部分は恒久的な潤滑がなされていますので、油を差したりしないでください。

トラブルシューティング

●狙った場所に当たらない

調節ノブの範囲に収まらない…マウントベースがエアガンに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
撃つたびに当たる場所がズレる…マウントベースとエアガンがしっかりとガタなく固定されているか確認してください。